

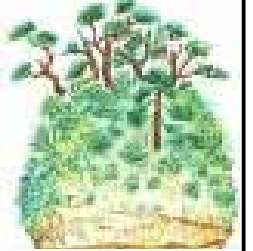


No. 955

2014・2・2

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三・四四五八  
F 四三・四四五七



# 安倍政権の「憲法25条解釈改憲」に對抗して!

1月24日に北見市の国保を浴する会主催の「国保をいかによくするか」医療保険の過去・現在・未来」と題して、講師に、二宮厚美神戸大学名誉教授を迎えての講演会がありました。

二宮氏は、「[1]社会保障をめぐる国民的対決点として、安倍政権による二つの解釈改憲路線(9条+25条の解釈改憲)」「税と社会保障一体改革」の実施による憲法25条の解釈改憲をしている。

「憲法25条(生存権、国の社会的使命)1項、すべての国民は、健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有する。2項、国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」とある。

しかし、安倍政権は、この憲法25条を解釈改憲して、昨年8月から生活保護費の削減を強行した。

共助という言葉を使って、国の責任を放棄して、共助が社会保障だといって間違った方向にむけようとしていると厳しく批判しました。[2]国保による医療保障



## 2014年 新春のつどい

日時 2月2日(日)  
午後1時30分～3時30分  
場所 エコーセンター2階大会議室  
会費 1000円(中学生以下無料)  
来賓 日本共産党道国政相談室長

森 つねとさん

主催 日本共産党網走市委員会  
日本共産党網走市後援会

ご参加のほど よろしくお願ひします

充実の道では、日本の国保制度が築き上げてきたものとして、医療保険は現物支給が原則と述べ、国保による医療の現物給付は、本来窓口負担ゼロである。

現実には、窓口で3割負担しているのは、医療機関が国民健康保険に代わって医療費を受け取っている。だから、資格証の発行で医療を受けられなくするするやり方は、現物給付の原則に反するものだ」と批判しました。

また、医療保険は人権問題であり、だからこそ一般会計からの繰入で保険料を上げないようにしなければならぬ。いことも強調されました。最後に、安倍政権の悪質な反則行為にレッド・カードを突きつけようと呼びかけ講演を終了しました。

## いよいよ東奔西走

私の事務所のある町内会の総会・新年会に出席したおり、自主防災組織設置の取り組みについての報告があり、災害についての質疑応答がなされました。

特に3・11の東日本大震災以後、地震による津波被害を目的の当りにして、海と川に近い町内会として関心の高さは高台地区の町内会とは比べ物にならないくらい高く、総会での質問やその後の新年会での話でも、避難への対応が一番の関心事でした。

「エコーセンターが避難所では大丈夫なのか」とか、「向陽ヶ丘へ逃げざるを得ないが、あの道路だけで対応できるのか」等々、様々な意見や要望が出されました。特に高齢化が進んでいる町内会の現状から、避難する体制をどのようにしていくかという声が出ました。

確かに海岸に面している、網走川に囲まれた地域の町内会は津波の意識が高く、避難路への関心も高い。それに応える行政的確な対応が試される3月議会です。

## 松浦春樹メモ

27日に行われた農業委員会で、「農地中間管理機構」についての説明がありました。農地中間管理機構とは、農地集積バンクとも言

われています。

日本共産党は、昨年の臨時国会で農地中間管理事業法案への反対討論で、①TPP対応の「日本再興戦略」として位置付けられ「今後10年間で、全農地の8割が担い手によって利用され、担い手のコメの生産コストを現状の1万6000円から4割削減し、法人経営体数を2010年比約4倍の5万法人とする。②農地の番人として、重要な役割を果たしてきた農業委員会を農地集積事業から事実上排除することを法律上規定している。③優良農地において大企業が主体の大規模農業生産法人への農地集中を進め、農村の解体や中山間地の荒廃を進展させかねないものであることを理由として反対しました。

先日の農業委員会の中では、まだ、詳細については分からないので、わかり次第、勉強会を開きたいとのことでした。

## 流水

日本の伝統的な食文化として「和食」が、ユネスコの無形文化遺産に登録されました。和食は新鮮で多様な食材を使用し、栄養バランスが良く、健康的かつ季節性に富み、又特有の発酵技術を活用してうまみと風味を作りだすなど、その独自性が高く評価されたものです▼和食では年中行事や祭り事が組み込まれ、特に正月料理のおせちは華やかですが近頃はそれにも様変わりが見られるようです。雑煮だけは作るがおせちはセット買い、又は実家から貰ってきたもので間に合わせるなど…。

又基本とされる一汁三菜なども定着していない▼何よりも問題なのは、「ロス食品問題」で、多量の食べ残し食品が無駄に捨て去られていることが報じられています。伝統的な和食料理が次世代に伝わる機会を無くしてきたのには、あの戦争の影響も大きく働いていると思います。あの食糧難の時代に一家団らんで囲む郷土料理は、まさに夢そのものでした▼さて今、無駄でいらぬ物の最たる物は民主主義に反し、憲法にも反して強行採決された特別秘密保護法ではないでしょうか。戦争を準備するこの法案は何としてでも除去しなければなりません。頑張りましょう。(K)